

1. 持続可能な発電方法とその理由についての児童の記述(1回目)の例

※児童が書いた記述をそのまま引用

児童	A	B	C	D
記述	太陽光発電 太陽光パネルは太陽が出ている時しか使えないけれど、パネルに太陽のエネルギーを貯めているからずっと使える	風力発電 風は天候に関係なく吹く。二酸化炭素も出さないため枯渇しない	太陽光発電 太陽の光を使って環境に優しいし、太陽の光が消えるなんて人が生きている間は無いと思うから	風力発電 風は無限に吹くし、あまり二酸化炭素もださないと考えたからです
児童	E	F	G	H
記述	バイオマス発電 動物や植物が出す資源は、増え続けているから持続可能だと思った	水力発電 水は、環境に良いし、環境に悪いことがないからいいと思う。雨が降るからなくなるしない	太陽光発電 太陽は、当たるだけだけど、そのおかげで太陽に当たって電気が出るからいいと思う	風力発電 風が吹くだけで発電できるし、地球温暖化も進まない

2. 持続可能な発電方法とその理由についての児童の記述(2回目)の例

※1. の児童と対応しており、児童が書いた記述をそのまま引用

児童	A	B	C	D
記述	バイオマス発電 CO ₂ が出るけど繰り返し発電できる。家庭ゴミをただ燃やしてCO ₂ を出すよりも燃やしたもので発電に比べれば費用が他の発電方法より少ない	バイオマス発電 CO ₂ は出てきてしまうけれどCO ₂ は、木の成長の時に吸収するのでよい。動物のフンや家を出てきた燃えるゴミを燃やすのは、なくなるから持続可能で電気を作れる	水力発電 水は、循環するので枯渇しないこと、環境に優しい。水の量が少ないと、勢いが弱くなって、送る電量が少ないと言うけど、火力発電で石油や石炭がなくなって電気が使えなくなるよりましだから	太陽光発電 CO ₂ を排出せずに発電できるのはかなりいいし、デメリットも他と比べたらまだと思った。太陽光の光は、ほぼ無限だから。雨がずっと困る
児童	E	F	G	H
記述	バイオマス発電 太陽光発電は、CO ₂ を出さないけれど酸素にする自然の植物を壊しているし、太陽光発電や風力発電は、海に作っているから魚とかにも影響がいくと分かってバイオマスにしました。資源は増えているし持続可能だと思う	バイオマス発電 人間が一日に出す燃えるゴミの量や一日に出る資源は多いし持続可能だと思った。ゴミ処理場は、燃やすのに電気を使うけど、燃やすことで電気が発電できるかもしれないからCO ₂ を減らせる。燃やしたままだともったいない	水力発電 色々な所の水を利用できる。例えば、下水道や小川の水など。また、CO ₂ を出さない発電ができる。太陽光発電もCO ₂ を出さないけど夜は発電できない。水力発電は、夜も昼も発電できる。でもダムを造るのにお金がかかるし、降水量によって電気の量が変わるのが水力発電のデメリットだ	バイオマス発電 バイオマスは、CO ₂ を出してしまうコストが高いなどというデメリットもあるが、それ以上に原材料が持続可能エネルギーだというメリットがあるから、バイオマスで最初と変わらない

3. ジグソー法による調べ学習

